2025.12.4

令和７年度　和坂小学校・環境体験学習桜守活動報告

藤原春善(1093)

１，活動日時：2025 年 12 月 4 日 9 時 00 分～12 時 00 分　曇り時々晴

２，活動場所：兵庫県立明石公園

３，活動人員：　和坂小学校（教頭・3 年生、他）55 名
（公財）兵庫県園芸・公園協会（1 名）
まちづくり協議会サポート隊 5 名・桜守ボランティア 6 名
兵庫県樹木医会樹木医（3 名）

４，活動内容

（１）安全講習（剪定鋏（せんていはさみ）と鋸（のこ）の使い方など）

（２）桜を被圧（ひあつ）するクスノキの剪定と桜の胴吹（どうふ）き及びヒコバエの剪定

（３）生徒からの疑問、質問

①クスノキ：常緑広葉樹高木で芳香（ほうこう）（樹皮と葉には樟脳（しょうのう）の香りがあり、防虫剤の原料）がある。

・葉の裏側を見ると３脈が目立ち、分岐点の小さな穴、ダニ室です。

・葉の内部を食害する絵描き虫（ハモグリバエ）です。

・葉の汁を吸い褐色斑（かっしょくはん）の食害痕はクスベニヒラタカスミカメと考えられる。

②ソメイヨシノ：落葉広葉樹でオオシマザクラとエドヒガンから生じた雑種（ざっしゅ）で、美しい花が先に咲きに、結実（サクランボ）はほとんどしない。

・秋に紅葉するのは、葉緑素（クロロフイル）が分解され、後に残った糖分と太陽光からアントシアニンという赤い色素がつくられ、紫外線から葉を守り、栄養分回収の役割を果たす。

・桜餅の皮に使われるオオシマザクラの葉はクマリン（毒があるが、リラックス、血行促進、咳止め、血圧低下等の効果ある）の香りがある。

・樹皮に付着している繭（まゆ）はヒロヘリアオイラガでかぶれるため手で触らない。

⑷落葉落枝を集め、腐葉土を蓄えたエコスタックに加え、エコスタック内の昆虫探し、カブトムシの幼虫を確認した。